

生かせいのおち

— 大師のみこころと共に —



四国地区特別伝道大会

令和7年**10月16日**木 11:00 受付
12:00 開会

藍住町総合文化ホール

(徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1)

【お問い合わせ】
阿波宗務支所
TEL 088-699-2657

御導師

高野山真言宗管長

長谷部真道 大僧正

講演

石川県 寶泉寺住職

辻 雅榮 僧正

主催：高野山真言宗 阿波宗務支所

後援：高野山真言宗 第八地域伝道団

法要

12:00~



ご親教
長谷部 真道 大僧正

高野山真言宗管長
総本山金剛峯寺415世座主

講演



演題
「仏足頂礼 高野山足湯隊」
—浄化と再生の湯施行—
辻 雅榮 僧正

石川県 寶泉寺住職
高野山本山布教師



2024年3月11日 石川県七尾市山王小学校避難所

仏足を頂礼する高野山足湯隊

「汚い足を洗わせて悪いなあ。でも足を丁寧に洗ってもらうと、なんだかパーッと窓が開くような、戸口に立つような思いがするんだ。俺はまだまだ何かできそうだ」

そう言ってくださったのは、震災で家と仕事を失った方でした。再び訪れたとき、彼は仮設住宅で輪島塗りの仕事を再開していました。足湯が立ちあがるためのきっかけとなったのであればうれしいことです。温かいお湯と人のぬくもりに触れることで、新たな生きる力が呼び覚まされることを願っています。

足湯のルーツは、僧侶が寺院の浴室を開放し、災害や病気に苦しみ人々に温浴を施す「湯施行」にありました。高野山足湯隊の足湯は、対象者の足を仏様の御足と見立て、地べたに額ずいて洗い浄め、震災で傷ついた心を癒やすところが大切なポイントです。足湯中の対話に注意を払い、いまどのような状況にあり、どういう心地でおられるのかを教えてください。足湯隊が被災者の足を洗う姿は、あたかも仏様の御足を最敬礼するのと同じように見るところから「仏足頂礼」と呼ばれています。足湯は浄化と再生を促すばかりか、足湯をする側の人間性をも高め、他者と心を通わす上で大切な尊重和敬のまなざしと心のぬくもりを教えてくれる、仏道修行であると言えるかもしれません。

いまなお被災の傷跡に苦しむ人々に、一日もはやい復興をお祈り申し上げます。
合掌

〈高野山足湯隊〉

2007年能登半島地震のとき「高野山足湯隊」を結成し、東日本大震災や熊本、岡山などで足湯による傾聴ボランティアを行った。2024年能登半島地震・豪雨では、美容師や檀信徒の協力を得て、白髪染め・シャンプー・ヘアカット・焼き芋カフェなどを展開中。能登半島の仮設住宅をまわっています。



〔会場〕 藍住町総合文化ホール

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1
TEL 088-637-3344

主催：高野山真言宗 阿波宗務支所
後援：高野山真言宗 第八地域伝道団

（キリトリ線）

（キリトリ線）

四国地区特別伝道大会 参加申込書

申込方法

参加申込書記入の上、受付寺院へお申込みください。なお、締切日は9月30日または定員数600名になり次第締め切ります。

お名前	受付寺院名
電話番号（携帯番号）	
ご住所（〒 - ）	

※それぞれの菩提寺へ、参加志納金（御宝号念誦基金）1,000円を添えてお申込みください。